

平成 26 年 3 月 18 日

## 平成 26 年地価公示に係わるコメント

一般社団法人 不動産流通経営協会  
理事長 竹井 英久

今回の地価公示では、景気回復に向けての堅調な足取りのもと、地価の回復基調がより鮮明になった。全国平均では、住宅地、商業地ともに依然として下落しているものの下落率は引き続き縮小し、特に三大都市圏平均では住宅地、商業地ともに上昇に転換した。上昇地点数の割合も三大都市圏を中心に、住宅地・商業地ともに全国的に大幅に増加した。

足元の不動産流通市場では、景気回復期待に加え、金利や価格の先高感を背景として、また住宅ローン減税拡充等の政策効果の下支えもあり、中古流通市場・新築マンション市場共に、堅調に推移している。商業系不動産についても、脱デフレ期待を背景とした不動産投資意欲の高まりから、Jリートや投資ファンド等による積極的な物件取得が行われている。

今回の地価動向は、これらの不動産市場の動きが反映されたものである。地価の回復は、設備投資や住宅投資の促進につながり、デフレ脱却・経済成長の政策を強く後押しするものと考えている。当協会としても、不動産流通市場の活性化を通じて、政府の成長戦略実現に向けて貢献してまいりたい所存であり、今後も不動産税制・金融面等での一層の政策支援を政府にお願いしたい。

以上